



# 鵜鮎つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成26年夏号(46号)

## ダルクにつながって

タロー



ダルクにつながって8か月が経ちました。

紅葉の美しい頃岐阜に来て、今も暑い中毎日プログラムに取り組んでいます。

昔の私は、生活に刺激を求めていました。そして、覚せい剤で3回逮捕され、2回目の刑務所を出所して、やっとダルクにつながる事が出来ました。捕まる度に心から後悔し、二度と薬はやらないと決意しました。ダルクのことは知っていましたが、決意で薬を使わずにいられると信じ自分のやり方を続けた結果、前科3犯となりました。そうやって初めて、依存症と言う病気の自分が、自分の力で薬を使わずに生きるのは無理かもしれないと感じ、岐阜ダルクに手紙を出したのが始まりでした。

出所後、身元を引き受けてくれた更生保護施設から通所を始めました。仲間達と一緒にミーティングと運動プログラムを毎日続けました。教えてもらった通り、ミーティングでは出来る限り毎回正直に自分の話をし、嫌だった運動でも走り続けました。毎日そうしていたら、今、薬を使わずに社会にいらることができています。

更生保護施設から一緒に通所していた仲間達がいましたが、仕事をして自由に暮らすことを選び、途中でダルクを止めてしまいました。また覚せい剤を使い、今では早くも刑務所に戻った人もいます。それは回復を優先しなかった自分の姿だと感じています。

私は今は昼間のバイトをしています。生活の中心はプログラムで、休みの日とバイトの後は仲間達と一緒にです。ダルクのプログラムでは嫌なことをやった方が良いと言い、また、一日一日ハイパーパワーから与えられたことにベストを尽くし、結果はお任せすると言います。そこで私は、昔バカにしていたコンビニのレジをやっています。目の前に来たお客さんに懸命に対応します。嫌だったレジ仕事をするのにもプログラムを活かし、様々なことを感じながらやっています。そして、その日の行動をありのままにミーティングで話します。そうしているうちに、特別なことは何も起こらない一日でも、沢山の喜びを感じられることが分かってきました。バイトもプログラムです。仲間と共に薬を使わずに生きる日常の喜びを味わいながら、回復の道を歩み続けたいです。



## 薬物依存症と少年鑑別所

岐阜少年鑑別所長 犬飼 誠

岐阜少年鑑別所長の犬飼と申します。昨年10月に岐阜少年鑑別所に赴任してきました。これまでに少年院や刑務所といった矯正施設で32年間、14の施設で勤務してきました。私はそこで、多くの薬物依存者の方と出会ってきました。その方々は、薬物からの離脱に失敗して矯正施設に收容されてきた人ばかりでした。

覚せい剤使用の再犯率は残念ながら非常に高い確率を示しています。覚せい剤は、その依存度の高さから、売人にとっては濡れ手に粟で、薬に儲かる金蔓・金の卵なのです。薬物依存者に覚せい剤をちらつかせば、必ず購入してくれます。特に、矯正施設を出たすぐ後は、薬物に飢えた状況なので、一番のチャンス。お得意さんが帰ってきてくれたので、絞れるだけ絞りとおこうとするのです。

覚せい剤は、今は、ほとんど海外から日本に輸入され、反社会的組織によって密売され、犯罪や暴力、戦争の資金源となっています。そして、裏で甘い汁を吸っている人のポケットに莫大な金が入っているのです。薬物依存者はその餌食となった犠牲者です。

私は、一昨年まで関西の刑務所に勤務していましたが、そのとき、30年前に私が少年院に拝命した当事に担当していた少年（現在は50歳を超えている）と30年ぶりに再会しました。彼は、薬物使用により刑務所を出たり入ったりし、離脱していた時期もあったが、何度も失敗して、5回目の刑務所での服役生活をしていました。彼は「家族も友人も皆薬物で無くしてしまったので、出たらすぐにまた薬物を使用してしまうと思います。薬物は自分をボロボロに傷つけ、お世話になった人の気持ちを踏みにじっていきます。だから、できるだけ長く刑務所にいて薬物から逃れていたのです。刑務所にいるときだけが人間らしい自分であることができる時間なのです。」と書いていました。私は、薬物の害悪については以前から勉強はしていたのですが、その時には、薬物の恐ろしい現実を垣間見たような気がしました。

少年院や刑務所といった矯正施設では、薬物依存離脱指導にダルクから講師を招聘して指導を行い、ダルクへつながっていくことを奨励しています。ダルクの実績を高く評価し、連携して薬物依存離脱を実現しようとしています。

少年鑑別所は、非行のある少年を收容して鑑別（調査・診断）する施設です。大人の犯罪は、刑事事件として、罪の重大性を判断して刑罰を科すものですが、少年の非行には、事件の背景となる少年の人格や生育歴・保護環境を調べ、再犯を防止し、そして健全育成を目指した保護処分が科せられます。少年鑑別所は、薬物に手を染めてしまった少年に、離脱方法を検討し、その方針を示す機関です。

少年鑑別所は、それとともに、地域の非行や犯罪の防止に貢献するという目的も持っています。ダルクの家族会の皆さんに、鑑別所の外来相談棟の建物を使用いただいているのは、その目的にかなったことであり、現在は建物を御利用いただいているだけですが、情報交換等をしながらもっと関係を深めていくことができればと思っています。薬物依存を無くしていくと言う目的は、ダルクも少年鑑別所も一致しています。

薬物による依存症の人々が、離脱に成功し、安全で安心な社会が実現することを心から祈っています。



## 摂食障害とはどんな病気か

(摂食障害は依存症・第2回)  
各務原病院 ワーカー  
澤木 健佐

「摂食障害ってどうなれば回復なんですか？」と聞かれることが度々ある。非常に曖昧で、ひとそれぞれの形があり、ひとによって異なるかと答えている

自助グループでは、自己誘発嘔吐のあるひとは、食べ吐きがなくなったらバースディ（鈴木注・症状が治まった日）と決めることが多い。自助グループにつながった時点で、既に症状が治まっているひとは、グループ参加から何年という具合にバースディを決めることもある。

摂食障害の発症は思春期が多い傾向にあり、摂食障害の罹患に極限して見れば、成績の良い子が多いとされている。しかし、現場における私の経験では、成績の良い手のかからないいわゆる「いい子」だけに限られていない。

加えて、私の踏んできた臨床の現場では、症状が単なる摂食障害のみというひとは認められない。盗癖や性依存、リストカットやヒステリー、共依存に伴う人格や認知の歪みや他の薬物依存等を伴っていた。

患者みずからも気づかず、人知れず進行して、日常生活や人間関係に深刻な影響を与えているパターンが認められた。

複数の症状は単一のものだけが見られるわけではなく、合併したり、ある症状から違う症状へと相互に移行する。拒食と過食の症状も相互に移行するので、「拒食期」と「過食期」を何度も繰り返してしまう摂食障害者も認められる。

摂食障害の症状の表出に関しては非常に個性性に富む罹患状態であるという印象を持った。

摂食障害に罹る男女比は、「男：女 1：10」程度だと言われているが、実際に病院の診療を受ける人の比率を元にしてから、自分自身で拒食症や過食症の悩みを抱え続けている人を含めるともっと男女の差は縮まるという推計もある。実際、治療現場では男性の摂食障害者らの自助グループへ参加する等の傾向が目立ち始めている。

昨今、メディアなどで痩身の過剰なまでの広告宣伝がされていることに、この病気は非常に関係している。

正常な平均体重を著しく下回る体重までダイエットしなければならないという思いに取りつかれてしまったなら、それは、時として強迫観念的なものになってしまう。

また、自分以外の家族に依存症者がいたり、家族システムそのものが崩壊していて、それがストレスや不安となり摂食障害の遠因になっていることが考えられる。

嗜癖問題を生み出しやすい機能不全家族の問題を無視して摂食障害を考えることは適切ではない。

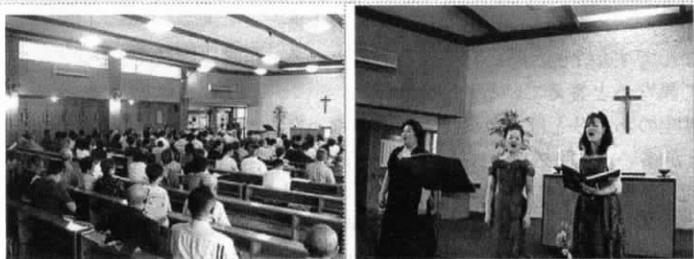
加えて、前述の痩せ願望を過剰なまでに刺激する社会的価値観の影響や関連、更には、家庭・職場・学校におけるストレスの多い人間関係の対立やいざこざなども合わせて、総合的に摂食障害を引き起こした原因を考えていく必要がある。

(構成・岐阜ダルク後援会 鈴木輝一郎)

# 岐阜ダルク活動紹介

こんな活動もしてま〜す!

## 5月11日(日) チャリティーコンサート in 岐阜カトリック教会



教会や演奏者の方々のご協力をいただき開催できました。3回目となる今年もたくさんの皆様に来て下さり、ソプラノの歌声とバイオリンやパイプオルガンの音色に酔いしれました。ダルクの活動を理解して下さった皆様のご支援が 245,926 円も集まりました。活動資金として大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

## 4月16日(水)

### 土岐保護司会の皆様来訪



ミーティングに参加され、ダルクの活動や薬物依存症者への理解を深めて下さいました。私達依存症者を支えようとして下さることを、とてもうれしく感じました。

## 5月15日(木)

### 岐阜清流マラソンボランティア



清流マラソンに参加する人達に配布する資料の袋詰めを行いました。社会貢献活動を通して視野を広げ、様々な人達と関わる中でのいろいろな気づきがあります。

## 中日新聞社より花や野菜の苗をいただきました。



近所の人が植木鉢を持ってきてくれました。大きく育つといいなあ。

## 6月26日(木) レクリエーション



月1回のレクリエーションはみんなで話し合って決めます。毎週少しづつお金も貯めます。6月は体育館を借りて、バドミントンとバスケットボールで汗を流しました。やる前は気が進まなかった仲間も、やってみると楽しかったと笑顔で話しました。汗を流した後は、みんなでおしゃれなカフェでパンケーキやスイーツを食べました。(^^)!

## 6月29日(日) 多治見カトリック教会にて活動紹介



一般の方にダルクの活動を知っていただきたく、各地域で活動紹介をしています。あわせて募金活動を行い、ご協力をいただいています。感謝致します。

## 学校や地域で講演

薬物依存症という病気を一人でも多くの人に知ってもらいたく、薬物依存に陥った体験談による講演を行っています。

## 5月2日(金) 瑞浪更生保護女性会



## 6月22日(日)

### 一般社団法人岐阜県社会福祉士会



## 《感想》

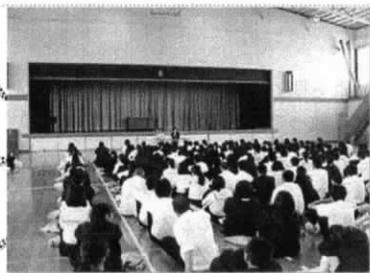
誘われたりしたら、ちゃんと誰かに相談したい。

シンナーや覚せい剤だけではなく、薬局の薬でも危険な薬になることが初めてわかりました。

軽い気持ちで捨てるようにして、自分を大切に生きていこうと思います。

体験談を聞きたい方はぜひお知らせください!

## 5月16日(金) 岐阜西中学校



## 6月24日(火) 郡上更生保護女性会



★岐阜ダルク 10周年フォーラム開催のお知らせ  
時：平成26年11月24日(祝・月)  
場所：ふれあい福寿会館大会議室302

## 活動紹介

### 4月

- 3 花見ミーティング
- 8 笠松刑務所薬物離脱指導
- 9 ニュースレター発送作業
- 10 電話相談日
- 11 岐阜ダルクチャリティーコンサート
- 12 電話相談日
- 13 岐阜ダルク家族会
- 16 土岐保護司会ダルク見学
- 19 電話相談日
- 20 ルーテル教会バーベキュー
- 22 笠松刑務所薬物離脱指導
- 27 岐阜ダルク家族会

### 5月

- 2 瑞浪更生保護女性会講演
- 7 笠松刑務所薬物離脱指導
- 10 電話相談日
- 11 岐阜ダルクチャリティーコンサート
- 14 電話相談日、引受人会
- 15 清流マラソンボランティア・ダルク後援会
- 16 岐阜西中学校講演
- 18 清流マラソンボランティア
- 岐阜バプテスト教会にて活動紹介
- 20 笠松刑務所薬物離脱指導
- 23 レクリエーション(ボーリング)
- 24 電話相談日
- 25 インマヌエル岐阜キリスト教会にて活動紹介
- 岐阜ダルク家族会
- 30 笠松刑務所薬物離脱指導
- 31 ビア岐阜10周年フォーラム

### 6月

- 5 ダルク後援会
- 10 笠松刑務所薬物離脱指導
- 11 電話相談日
- 14 愛知家族会フォーラム講演
- 電話相談日
- 16 理事会・総会
- 19 電話相談日、ルーテル教会草むしり
- 22 友愛キリスト教会にて活動紹介
- 岐阜ダルク家族会
- 一般社団法人岐阜県社会福祉士会講演
- 24 郡上更生保護女性会講演
- 25 僧状証人、笠松刑務所薬物離脱指導
- 26 レクリエーション(スポーツ)
- 28 秋田ダルクフォーラム参加
- 29 多治見カトリック教会にて活動紹介

## 女性ハウスだより



岐阜ダルク女性ハウス  
責任者 勇 陽子

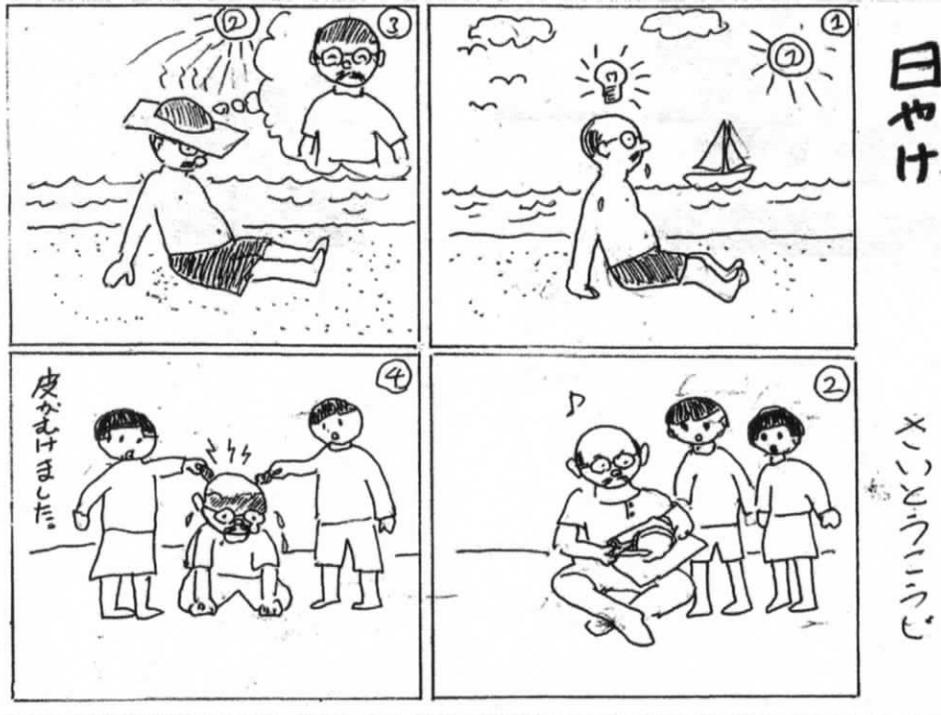
梅雨も明け、天気も気持ちよく晴れ、女性ハウスの寮にある庭の草が勢いよく生えています。しばらく放っておいたので花なのか、草なのか、みさかいがつかなくなりました。

寮の皆で、草むしりをしましたが終わりません。まめにコツコツとしなくては…と思いました。

現在、女性ハウスに入寮している仲間は2名になりました。新しい仲間が入寮し、寮での生活や、人間関係に変化がありハイパーパワーから与えられた仲間と思えました。

仲間と共にプログラムをやっていく中で、仲間が変わっていく姿を見るとハイパーパワーの存在を感じる事があります。昔は自分の事ばかりで、隣にいる仲間の事なんかあまり気になりませんでした。仲間を通して目に見えない力の存在を教えてもらっています。

これからもよろしくお願ひ致します。



(まんが 岐阜ダルク後援会 会長 齋藤幸二)

科 目	金 額	
<b>(資金収支の部)</b>		
<b>I 経常収入の部</b>		
1 会費・人会金収入		
入会金	0	
普通会費	30,000	30,000
2 事業収入		
講演料	329,648	
薬物離脱指導料	389,000	
バザー・フリーマーケット	28,770	
利用者入寮費	8,714,788	
薬物依存回復訓練	923,646	
その他	282,800	10,668,652
3 助成金		
地方公共団体	1,447,600	
民間	165,000	1,612,600
4 寄付金		
後援会寄付金	1,740,000	
一般寄付金	1,296,646	
募金	1,105,144	4,141,790
5 雑収入		
受取利息	397	
雑収入	50,706	51,103
経常収入合計		16,504,145
<b>II 経常支出の部</b>		
1 事業費		
薬物依存症者のリハビリテーション施設の設置運営	9,645,224	
薬物依存症者等の相談及び生活支援事業	4,432,119	
薬物依存に関する教育、講演会、研修会、セミナー、イベント等の薬物依存症者の福祉に資する広報事業	834,617	
薬物依存症者の福祉に資する広報事業	271,562	15,183,522
2 管理費		
法定福利費	418,037	
委託料	151,500	
通信費	60,924	
消耗什器備品費	40,800	
消耗品費	44,500	
修繕費	18,483	
水道光熱費	114,909	
賃借料	300,000	
租税公課	1,700	
諸会費	37,200	
雑費	25,315	1,213,368
経常支出合計		16,396,890
経常収支差額		107,255
<b>III その他資金支出の部</b>		
1 固定資産取得支出		
建物付属設備購入支出	0	
車輛運搬具購入支出	525,000	
什器備品購入支出	348,480	873,480
その他資金支出合計		873,480
当期収支差額		-766,225
前期繰越収支差額		2,410,402
次期繰越収支差額		1,644,177

# ご支援のご協力をいただき心から御礼申し上げます

## 献金者名 (3月7日～6月29日)

佐藤悦子 井上尚治 カトリック津島教会 清水宗夫 亀田公子 勇昭代 池田時造 豊和&夢子 幼き聖マリア修道会 弁護士・伊藤知恵子 可児保護区保護司会 高橋直子 聖泉キリスト教会 上田千津子 山県地区更生保護女性会 西洋子 堀尾佳広 マリアの丘クリニック理事長・近藤直樹 弁護士・寺本和佳子 宗教法人正願寺代表役員・小島良徳 加藤洋子 木下容子 鈴木輝一郎 北谷雅春 弁護士・山本亮 大垣病院 武内榮子 若岡ます美 塚本恵一 同盟福音基督教会・岐阜キリスト教会 神谷法律事務所・代表社員・神谷慎一 中西東峰 カトリック布池教会 岡村晴美 松井康代 佐藤恵司 園部須和子 長田尚人 永嶋恵美 長澤清 岡田喜美江 横山とみ子 青井初恵 佐藤友紀 伊佐地金剛 前田功 柴田悦子 北野いつみ 堀田ひとみ 高木加代子 上田洋子 齋藤幸二 郡上更生保護女性会の皆様 笠松キリスト教会の皆様 岐阜バプテスト教会の皆様 大垣サンライズチャペルの皆様 インマヌエル岐阜キリスト教会の皆様 友愛キリスト教会の皆様 多治見カトリック教会の皆様 一般社団法人岐阜県社会福祉士の皆様 医療法人十全会・聖明病院院長・近藤直樹 可児保護区保護司会 服部正博(友愛キリスト教会信徒) ルーテル岐阜教会・小田泉・河村満寛 養清興業株式会社 匿名者多数

## 献品者名

松井康代 日置雅治 清水由子 飛騨高山教会・水谷恵子 水野晃

※お名前前の記載につきましては注意を払っておりますが、万が一お名前前の誤字・脱字または記載漏れなどございましたら、誠に申し訳ありませんが、ダルクまでご連絡をいただけますようお願い申し上げます。

※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名希望の方は、恐れいりますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い致します。

※岐阜ダルクでは毎月 60 万円程度の活動資金を必要としておりますが、その多くを皆様方からの寄付によっております。引き続きみなさまがたのご理解とお力添えをお願いもうしあげます。

※岐阜ダルク 郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

## 施設からお願い

毎月第2金曜日、岐阜・野宿生活者支援の会 (<http://www.ccn5.aitai.ne.jp/~gifu1957/volunteer/>)へ衣類整理のボランティアに参加しています。野宿生活の方に配布する浴用サイズのタオルを募集しているそうです。社名の入ったものでもかまわないそうですので、ご家庭もしくは会社などで余っているタオル(新品に限る)があれば送って下さい。野宿生活者支援の会に届けたいと思います。

## ✿ 岐阜ダルク 10周年フォーラム開催 ✿

日時：平成26年11月24日(祝・月)

場所：ふれあい福寿会館大会議室(302)

※詳しい内容につきましては次回ニュースレター秋号(No.47)にてお知らせします

編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク  
編集担当 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二 鈴木輝一郎  
〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-251-6922  
Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp  
ホームページ: <http://gifu-darc.sakura.ne.jp/>  
ダルク日記『今日もぐるぐる』: <http://darcblog.sblo.jp/>  
2013年 岐阜ダルクニュースレター平成26年夏号(No.46)  
定価 1部 200円  
編集責任者 遠山 香  
発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会  
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター